



平成 28 年 11 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 成学社  
代表者 代表取締役社長 太田明弘  
(JASDAQ・コード2179)  
問合せ先 取締役経営企画部長 藤田正人  
電 話 06-6373-1595

## 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の業績予想値と実績値との差異について

##### (1) 連結業績予想値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	5,108	△141	△144	△153	△27.69
実績値 (B)	4,926	△191	△201	△130	△23.69
増減額 (B - A)	△182	△49	△57	22	
増減率 (%)	△3.6	—	—	—	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	4,836	△27	△41	△50	△8.79

##### (2) 個別業績予想値との差異

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	4,820	△156	△163	△29.59
実績値 (B)	4,686	△215	△140	△25.35
増減額 (B - A)	△133	△58	23	
増減率 (%)	△2.8	—	—	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	4,608	△43	△50	△8.83

2. 平成29年3月期通期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の業績予想値の修正について

(1) 連結業績予想値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	11,328	415	404	209	37.87
今回修正予想 (B)	10,929	253	303	168	30.49
増減額 (B - A)	△399	△161	△101	△40	
増減率 (%)	△3.5	△39.0	△25.0	△19.5	
(参考) 前期実績 (平成28年3月期)	10,676	401	402	184	32.86

(2) 個別業績予想値の修正

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	10,749	377	188	34.06
今回修正予想 (B)	10,417	276	151	27.35
増減額 (B - A)	△331	△101	△37	
増減率 (%)	△3.1	△26.8	△19.7	
(参考) 前期実績 (平成28年3月期)	10,212	374	167	29.90

3. 差異および修正の理由について

第2四半期累計期間の連結売上高につきましては、クラス指導部門の塾生数の減少が想定を超えたこと、個別指導部門の塾生数は前年から増加しているものの、高校生の伸びが鈍化し計画に届かなかったこと、講師派遣の受注状況が芳しくなかったことを要因として、予想を下回る結果となりました。損益面につきましては、売上高の計画未達の影響を受け、営業利益および経常利益は予想を下回ったものの、法人税の負担が軽減したことから、四半期純利益は計画を上回る結果となりました。

また、連結通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績および直近のグループ塾生数の動向を踏まえ、上記のとおり修正いたします。

なお、個別の業績につきましても、連結と同様の理由により、実績値との差異が生じており、通期業績予想を修正いたしました。

当社グループは、事業ドメイン「乳幼児から社会人までの教育および保育を基本とする教育企業」の下、昨春には保育事業を開始、来春には外国人留学生を対象とした「開成アカデミー日本語学校」の開校を予定する等、教育分野での事業拡大を図っております。今後、これまでの施策の成果が表れ、業績向上に寄与するものと考えております。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって業績予想値と異なる可能性があります。

以 上